

いくつになっても誰かの役に 立てる喜びを

～社会参加活動で利用者様の意欲時向上を～

デイサービスセンター 第2グレイスフル辰野

事業所紹介

平成18年12月に開所
定員10名の地域密着型デイサービス

併設事業所
介護付き有料老人ホーム（特定施設）24床
グループホーム18床



取り組んだ課題①

これまで、利用者様が製作した作品を郵便局やスーパー、地域の文化祭にて展示していた。

出展を明確にすることで利用者様の目的や意欲向上につなげてきた。

取り組んだ課題②

「地域とのつながり」から「社会活動」へと発展させるには・・・

と模索していたところ地域おこし協力隊による「新聞バッグ」に出会う

ちょうど世間では「レジ袋有料化」の動きが！！

取り組んだ課題③

デイサービスで作った新聞バッグを
地域の方に使ってもらえれば、今ま
で以上に目的が明確になり、利用者
様の意欲向上と社会活動になるので
は！！

具体的な取り組み

①新聞バッグの作り方を習う

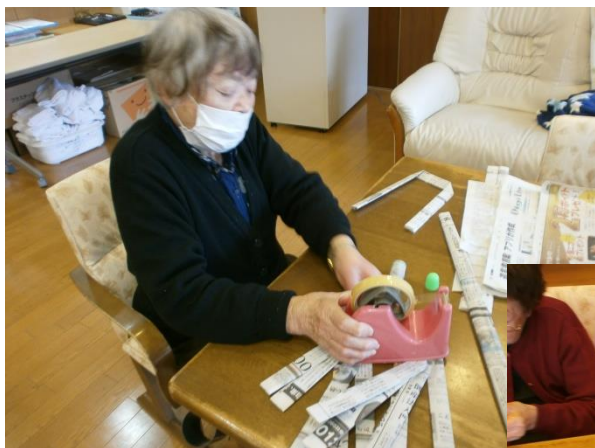
地域おこし協力隊に経緯を伝えたと
ころ、快諾していただく。

具体的な取り組み

②レク時に製作

個々で作るのではなく、得意なこと・やりたいことができるよう、複数人の手により1つのバッグを完成させる。

取り組みの様子



具体的な取り組み

③寄贈先を探す

地域おこし協力隊員より町内の入浴
宿泊施設・マルシェ・お祭りを紹介
いただく。

世間はレジ袋有料化。

活動の成果①-1

T・O様 85歳 男性 要支援1

加齢黄斑変性症により物が見えにくいためか、デイサービスの活動は消極的で、職員が色塗りや作品づくりを進めると取り組んだり、自ら会話しようとすることは少なく、話しかけられると答える、といった過ごし方をされていた。

活動の成果①-2

新聞バッグ製作開始当初も、職員がお願いしたことを行なう程度であったが、取り組みを進めるうち、自らバッグの表面にくる柄を選び「こんなのはどうか」と提案してくださるようになった。

また、女性利用者様が作った折り紙細工を貼ったらどうか、とアイディアを出してくださった。

活動の成果①-3

今ではデイサービスに来ると、真っ先に新聞を広げ、表面の柄探しを積極的にしてくださっている。

〇様のアイデアで
華やかなバッグに

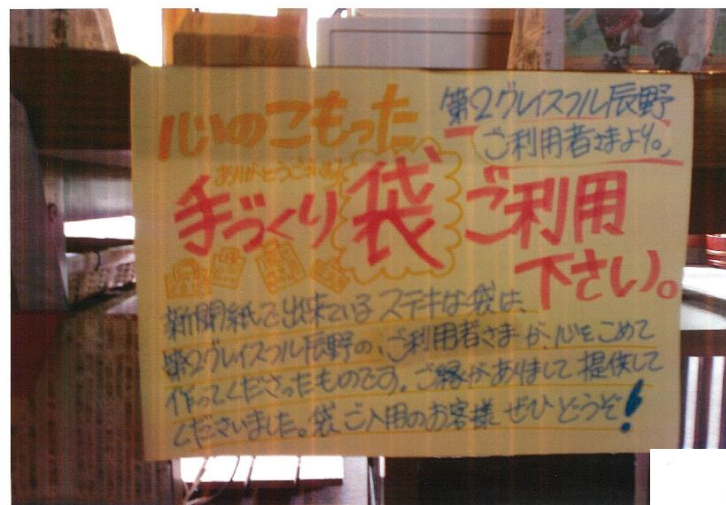


活動の成果②-1

T・O様以外にも、バッグの強度をご自宅で考え職員に伝えてくださる方、表面に使えるような新聞をご自宅から持参される方がいる。

利用者様のアイディアにより、最初に習ったバッグから進化したものになっている。

寄贈したバッグは約1,200枚となっている。



町内の「かやぶきの館」売店
コーナーに貼ってあるポスター

ボラセン日記 ～ボラセンのできごと報告～



第2グレイスフルの利用者さんが新聞バッグを作ってくださっています！

ボラセンショップでお買物をされた方に、第2グレイスフルのデイサービス利用者のみなさんが、新聞で持ち手付きの新聞バッグを作ってくださっています。一つ一つに折り紙で飾りがついていてステキなバッグです。主に雑貨を購入された方に使っていただいています。かわいくて丈夫な作りになっていて、とても喜ばれています。



新聞バッグ
かわいい！

辰野町ボランティアセンター
にて発行している新聞記事



野菜を購入された方用の新聞袋は、今までに引き続き、辰野町地域活動支援センターつむぎの利用者のみなさんが作ってくださっています。野菜を持ち帰って保管にも便利で、使った後はゴミ袋にもなるというこちらもみなさんに喜んでいただいています。



その他の活動

新聞バッグの他にも、紙コップを使用した手づくりおもちゃを製作し、子育て支援センターに寄贈した。

子どもたちも楽しんで遊んでいるとのことで、追加でいただけないかとの依頼をいただいた。



今後の課題

新聞バッグづくりは利用者様にも定着し、職員が声をかけなくても、自ら物品を準備し制作を始める方もいる。

地域でもさまざまな場面に使っていただいているが、この取り組みを知っていただくため、新たな使用場所を開拓していく必要がある。

まとめ

今までの「作って飾って見てもらう」から
「作ったものを使ってくれる」ことで

いくつになっても誰かの役に立てる喜びを
実感していただき、意欲的にデイサービス
に来ていただけるような取り組みを継続し
ていきたい。